



証券コード:6267

平成22年10月23日

日興アイ・アール株式会社主催  
**個人投資家向けIR説明会**



包装システムの市場創造型トータルプランナー  
**ゼネラルパッカー株式会社**



**General Packer**  
The total planner of a packaging system

---

# 目次

I. 会社概要

II. 業界の状況と当社の特徴

III. 中期経営計画ならびに  
業績動向

---

# I. 会社概要

# 会社概要(2010年7月31日現在)

- 設立 1966年(創業 1961年)
- 資本金 251百万円
- 発行済株式数 8,994千株
- 売買単位 1,000株
- 決算期 7月末
- 事業内容 各種自動包装機の製造・販売  
(食品・化学品・健康食品・医療用品等の包装用機械・システム)
- 従業員数 114名(その他臨時雇用者24名)
- 事業所 本社・工場(愛知県)、東京営業部

# 沿革

- 1961年 東陽商事(有)を設立
- 1962年 (株)ゼネラルパッカーを設立
- 1966年 東陽商事(有)をゼネラルパッカー販売(株)へ改称
- 1969年 ゼネラルパッカー販売(株)が(株)ゼネラルパッカーを  
吸収合併し、商号をゼネラルパッカー(株)と改称
- 1977年 本社工場を新設
- 1989年 本社工場に隣接して社屋(北館)を新設
- 2003年 **ジャスダック市場に上場**
- 2004年 本社工場南隣に社屋(南館)を新設
- 2006年 **平成17年度愛知ブランド企業に認定**
- 2007年 本社工場に隣接して工場(東館)を新設



Aichi  
Quality

認定番号214

# 事業内容-1

当社

身近な商品の包装に、当社の機械が活躍しています。

包装機械・包装システム等を各ユーザーの工場等へ販売

高品質・高難易度の包装分野

主要ユーザー

化学関連業界

健康食品・医療用品  
洗剤 等

食品業界

食品全般  
製粉・製菓・精米・製氷・削り節・製麺  
製茶・コーヒー 等

その他

ペットフード  
種苗 等



病院

輸液バック

カテーテル

粉末薬品

各店舗

スーパーマーケット  
コンビニエンスストア  
ドラッグストア  
ホームセンター 等



消費者

\* 当社機械で包装されている主な袋詰商品例

小麦粉

ふりかけ

花かつお

パン粉

ナッツ類

ロックアイス

粉末茶

お米



スパゲティ

ドリップコーヒー

肥料

野菜・花の種

キャンディ

健康食品

ペットフード

粉末洗剤

# 事業内容-2

袋詰用自動包装機の売上高が約6割

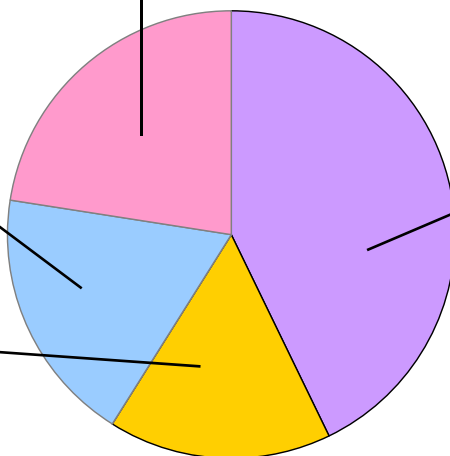


保守消耗部品その他  
833百万円  
22.6%

包装関連機器等  
676百万円  
18.4%

製袋自動包装機  
596百万円  
16.2%

給袋自動包装機  
1,575百万円  
42.8%  
(ガス充填自動包装機  
含む)



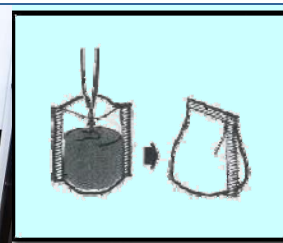
<2010/7期決算の状況>



高機能・高価格機種が主力

# 品目内容

対象物(粉末・顆粒・固形物等)を袋に充填して包装する機械



## 袋詰用包装机

### 給袋自動包装机

袋 → 給袋装置 充填・包装装置

菓子類、小麦粉、食品類、調味料、ペットフード、健康食品、医療用品、肥料、粉末薬品、電子部品等の袋詰用包装机。多品種少量生産向け。

### ガス充填自動包装机

袋 → 給袋装置 充填・包装・ガス充填装置

花かつお、ナッツ類等の袋詰用包装机。

### 製袋自動包装机

フィルム → 製袋装置 充填・包装装置

充填物は給袋自動包装机と同様。小袋の高速包装から大袋包装まで。フィルムから袋を作りながら包装する機械。

### 包装関連機器等

付帯機器(充填機、計量機、計数機、印字機等)、段ボールケーサー、各種包装システム等

### 保守消耗部品その他

当社販売機械の保守、修理・交換用部品、印字機、検査装置等の取付・改造等



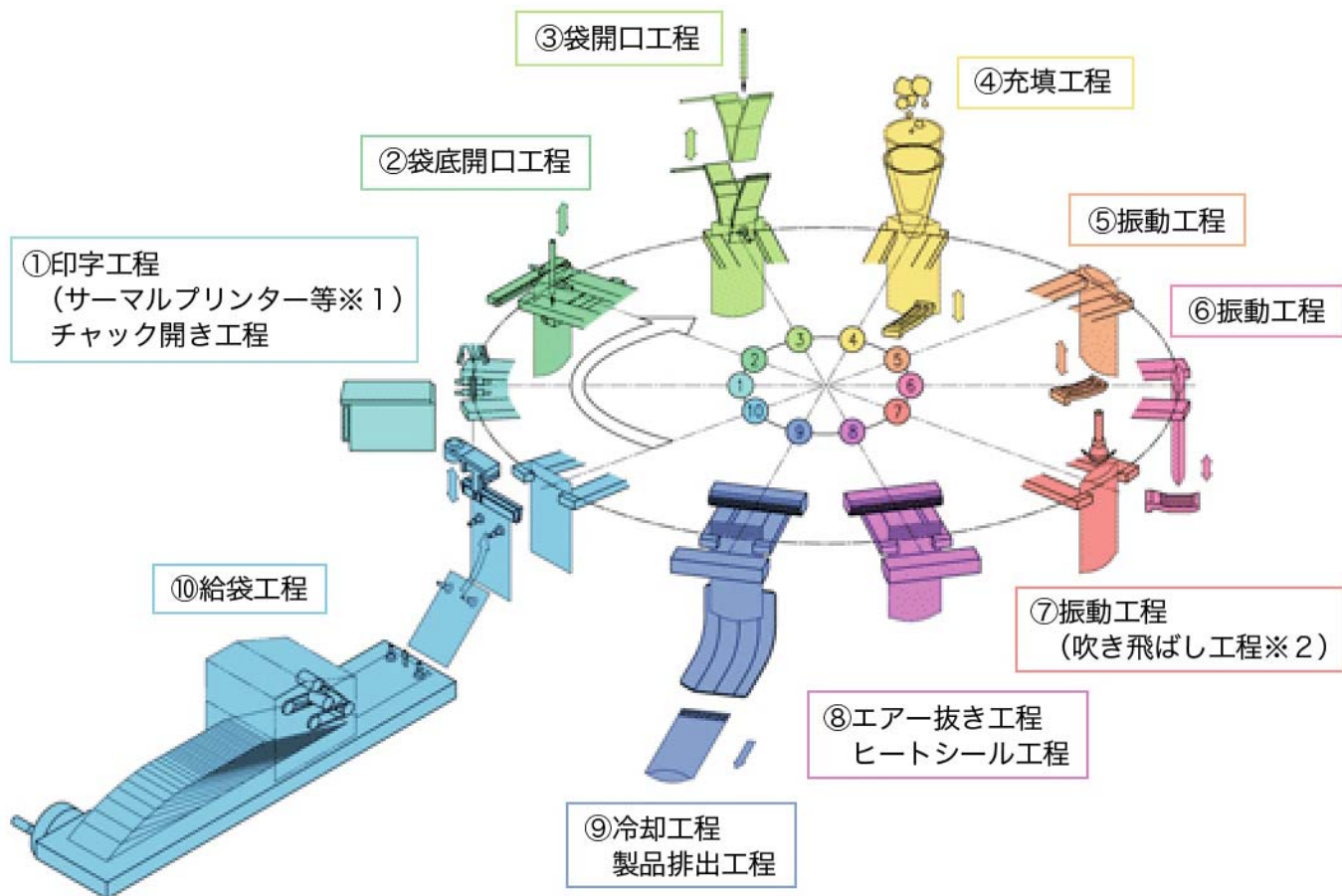
袋詰用包装機⇒ロータリー式包装機が主力

# ロータリー式包装技術

汎用性高い

省スペース

高難度の包装に対応



---

## Ⅱ. 業界の状況と 当社の特徴

# 包装機械業界

単位:億円

| 機種別            | 生産高          |
|----------------|--------------|
| <b>個装・内装機械</b> | <b>3,016</b> |
| 包装用計量機         | 180          |
| 充てん機           | 370          |
| びん詰機械          | 412          |
| 製袋充てん機         | 560          |
| 真空包装機          | 80           |
| その他            | 1,412        |
| <b>外装・荷造機械</b> | <b>725</b>   |
| ケース詰機          | 120          |
| その他            | 605          |
| <b>合計</b>      | <b>3,742</b> |

企業数 420社以上(専門メーカー 約240社)

中小企業が約9割

主な上場企業

専門メーカー:東京自動機械製作所

兼業メーカー:CKD、渋谷工業、オーエム製作所 等

袋詰用包装機

当社の主力包装機の区分

当社:包装機械の専門メーカー

■ドライ物(粉末・顆粒・固形物等)の包装機械・システムに特化

・高品質・高難易度の包装分野

・チャック付袋包装、ガス充填包装等

主な競合先(ロータリー式包装機メーカー)

・東洋自動機(非上場):レトルト物の包装が主力

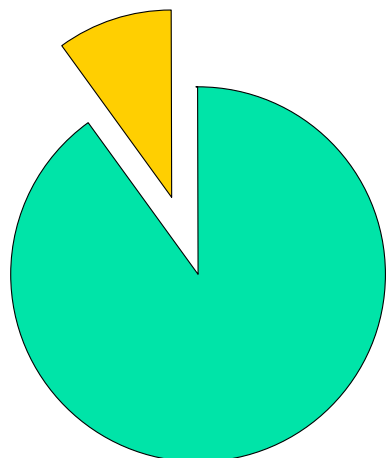
・古川製作所(非上場):ウェット物・真空の包装が主力

(社)日本包装機械工業会

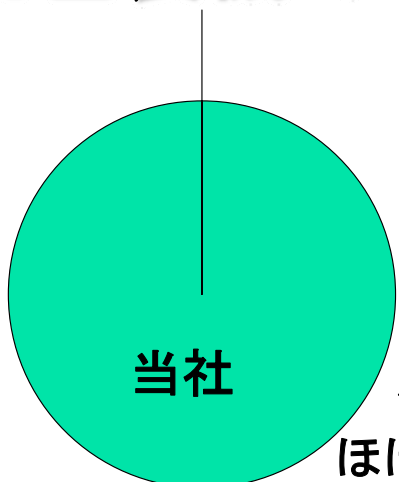
「包装機械及び荷造機械生産高統計」  
平成21年度実績

# 多くの分野の袋詰用包装機でNo.1シェアを獲得

出所: 当社推定

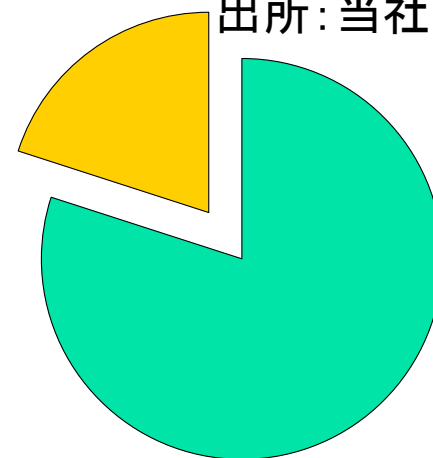


製粉

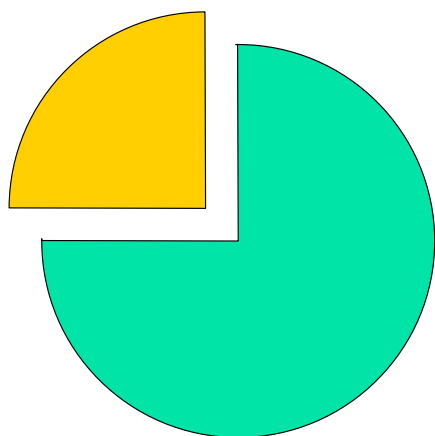


かつおミニパック

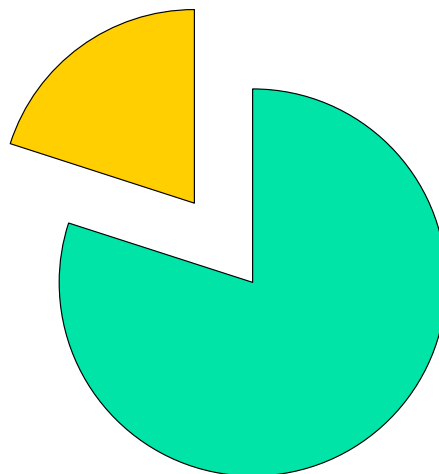
シェア  
ほぼ100%



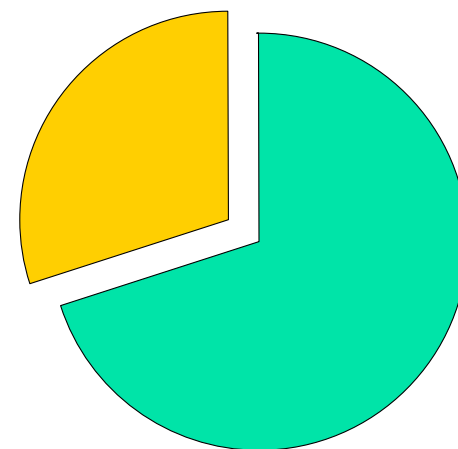
ロックアイス



ドリップ式コーヒー



精米



健康食品小袋

# 特徴－技術力

## ① 国内最高の高ガス置換技術を有する

■ 削り節用包装機、ナッツ類用包装機でトップシェア

風味の保持←不活性ガスを封入、酸素が無い状態へ

当社：高ガス置換型

⇒残存酸素濃度 0.5%以下

他社：簡易ガス置換型

⇒残存酸素濃度 2%以上



ガス充填システム  
搭載機種 of 拡大

他分野への展開

ペットフード用ガス充填包装機  
海外高級ペットフードメーカーの  
世界各地の工場へ納入



# 特徴－技術力

## ②チャック付袋対応機種の豊富なラインナップ

### ■チャック付スタンドパウチ

対応機種(STタイプ)

#### ■給袋自動包装機

10機種

#### ■製袋自動包装機

4機種

キャンディ、グミ、健康食品、小麦粉、お茶、ペットフード等の包装

### ■チャック付製袋自動包装機

2機種

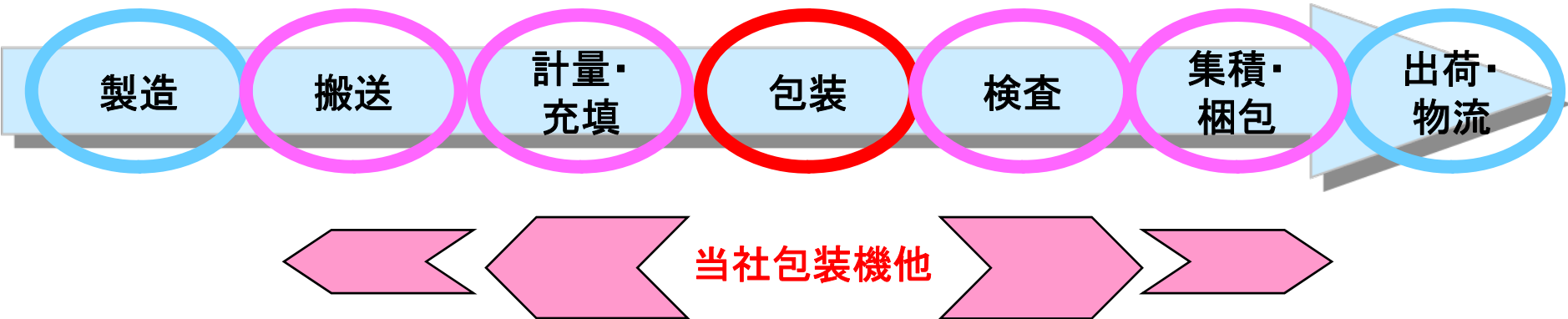
チャック付スタンドパウチ  
商品例





# 特徴－技術力

## ③包装システムのトータルプランニング



- 当社包装機をベースとしたトータルシステムの対応が可能
- 実績例：輸液バッグ包装システム  
ドリップ式コーヒー包装システム 等

# 特徴－技術力

## ④医薬品・医療機器の包装

### ■輸液バッグ包装システム

- ・ガス充填包装
- ・バッグの受取・搬送・挿入・包装

### ■医薬品包装例

- ・プラスチックアンプル
- ・錠剤(素錠・PTP包装品)
- ・粉体薬品 等

### ■医療機器包装例

- ・シリンジ
- ・輸液チューブ
- ・医療用針 等



輸液ソフトバッグ



素錠



プラスチックアンプル



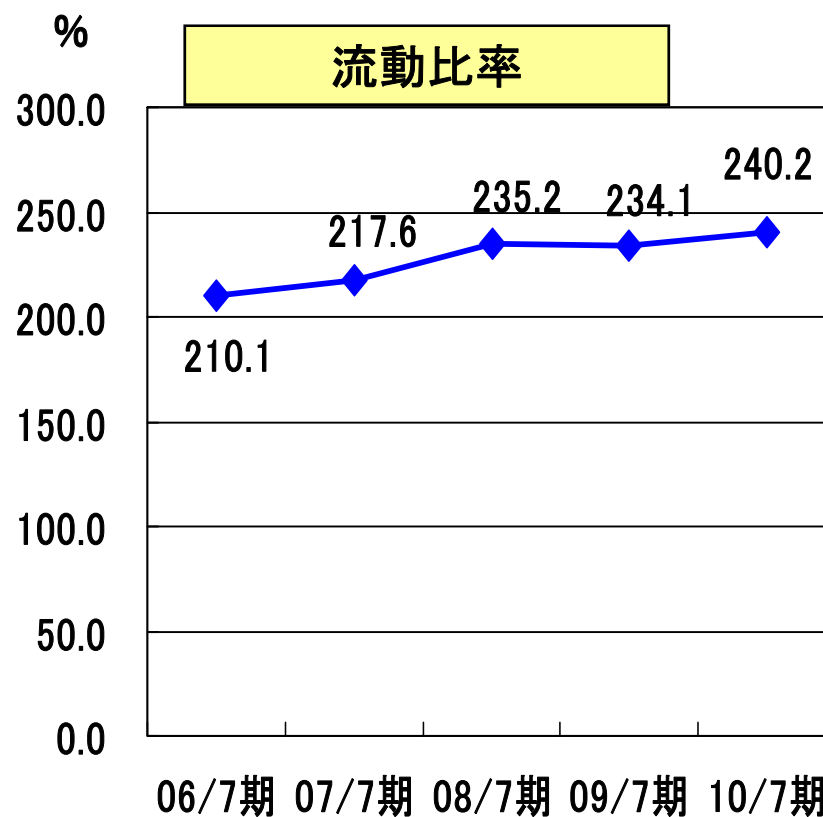
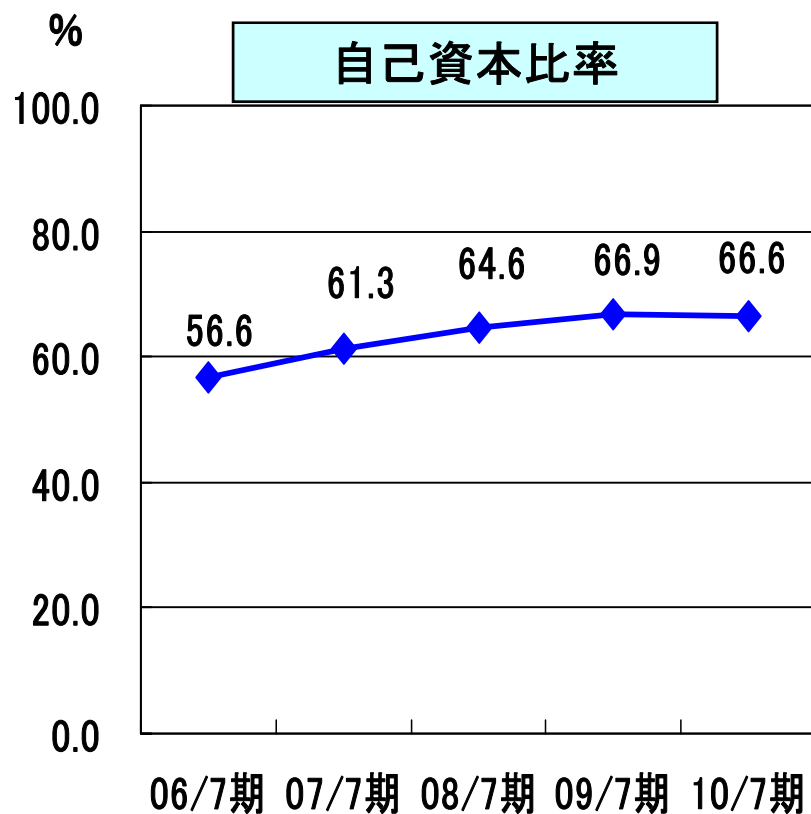
シリンジ



# 特徴－財務

## ⑤高い財務の安全性


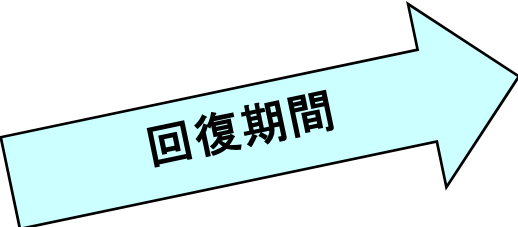
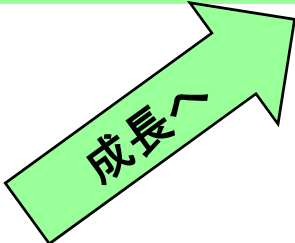
無借金経営



---

# Ⅲ. 中期経営計画ならびに 業績動向

# 第2次中期経営計画の位置づけ

| 第1次中計  | 第2次中計  | 第3次中計  |
|--|--|--|
| <p>業績動向</p>  <p>減収・減益</p> |  <p>回復期間</p> |  <p>成長へ</p> |
| <p>成長基盤作りが事業環境変化に対応出来ず</p> <p>経営管理体制の強化は進展</p>   | <p>将来の成長に向けた戦略的投資を推進</p>   |  |
| <p>新生ゼネラルパッカー(株)の社会的基盤固めの時期</p>  | <p>将来の飛躍を目指すための成長基盤再構築の時期</p>  | <p>飛躍の時期</p>   |
| 06/7期 07/7期 08/7期  | 09/7期 10/7期 11/7期  | 12/7期~14/7期  |

# 企業ビジョン

(第1次中期経営計画で掲げたビジョンを継続)

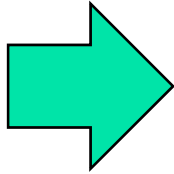
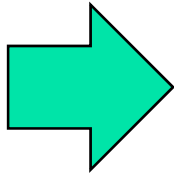
- 「社会・株主・顧客・取引先・従業員の全てに対し、誠実で透明性の高い経営を実践し、信頼され、支援される企業」の実現



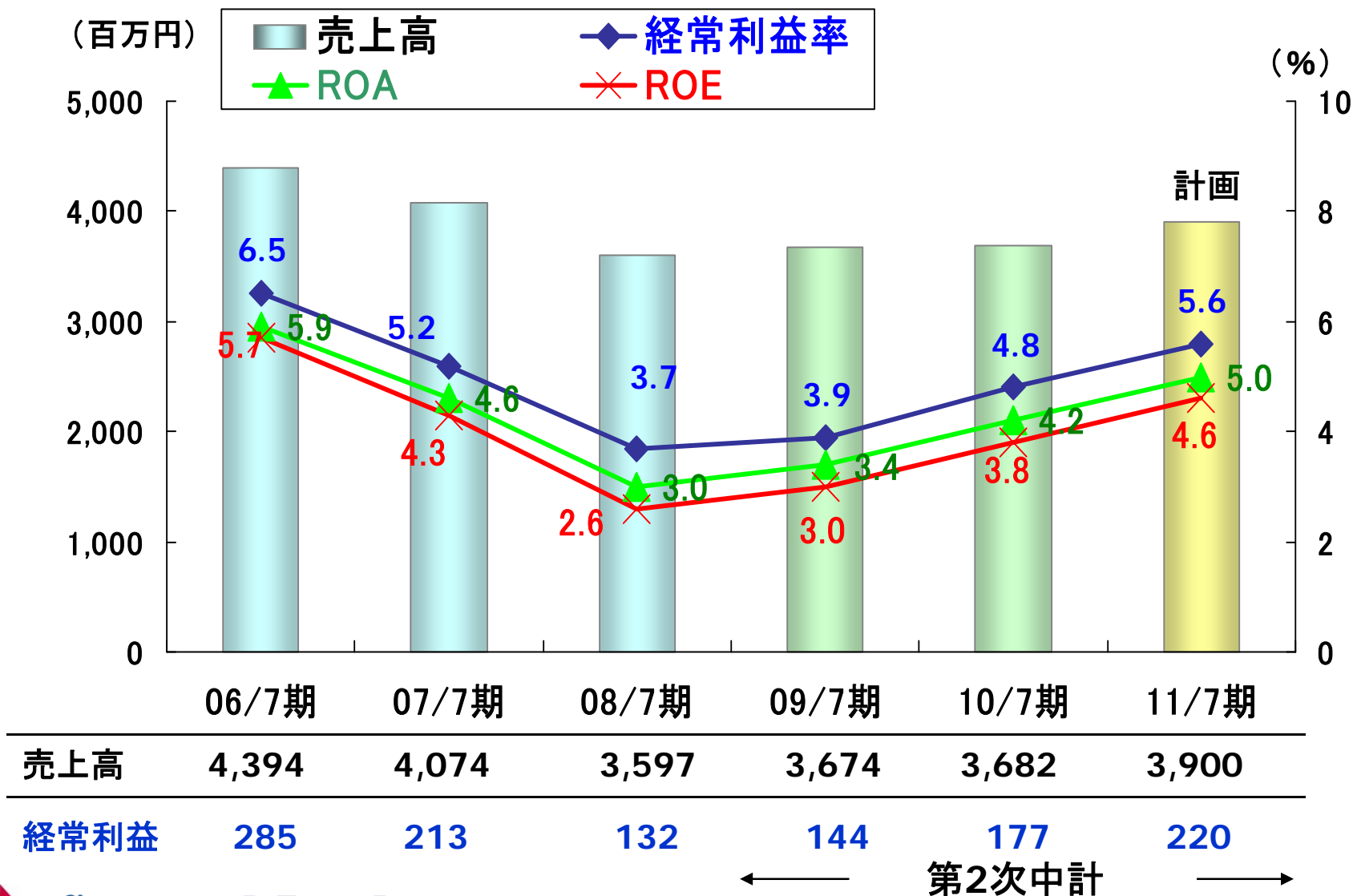
# 中期経営ビジョン

1. 世界に通用する包装機メーカー
2. 包装システムの高度化に応えるトータルプランナー
3. 挑戦心と活力あふれる『モノづくり企業』

## 中期数値目標

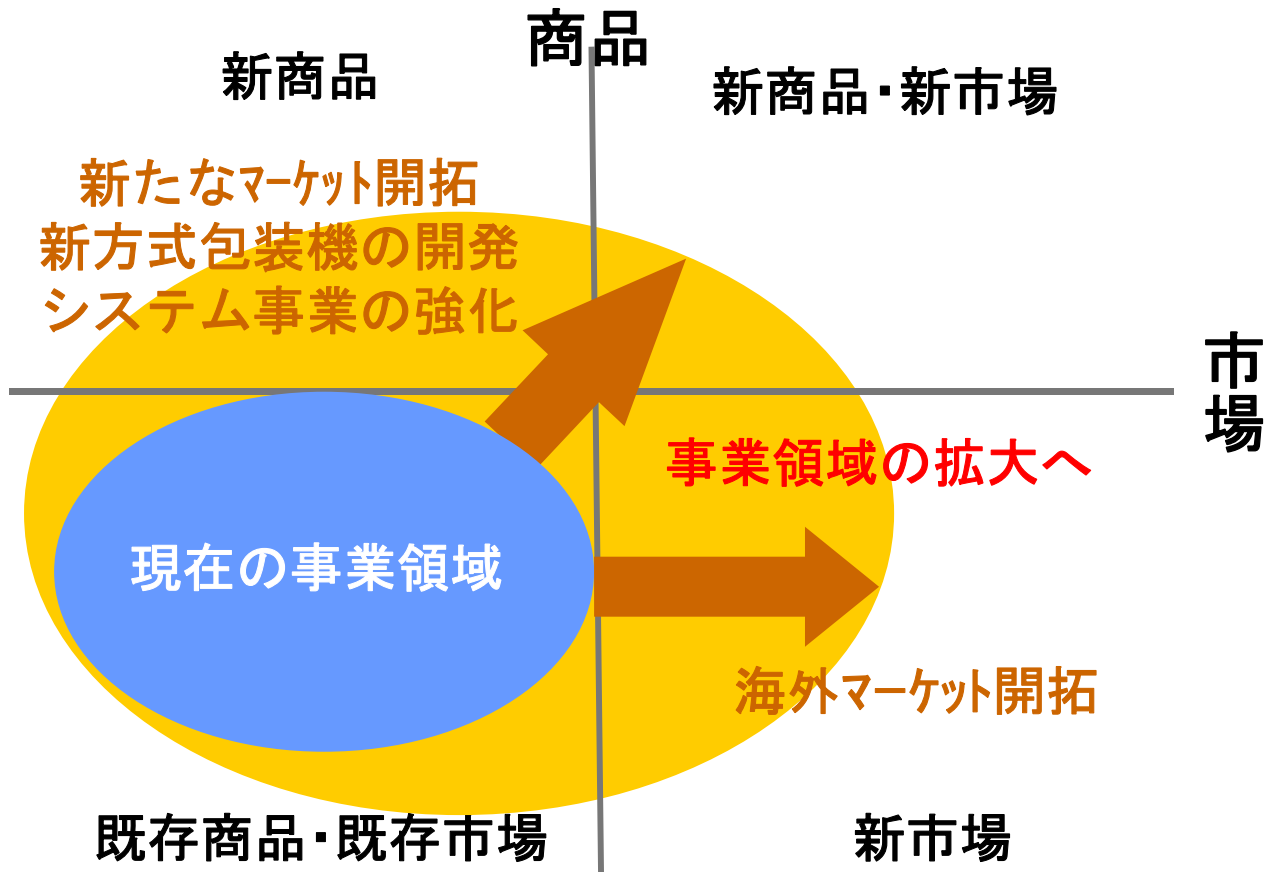
|                 | 第1次中計最終期 |  | 第2次中計最終期 |
|-----------------|----------|--|----------|
| <b>■経営目標</b>    | 08/7期実績  |   | 11/7期目標  |
| 売上高経常利益率        | 3.7%     |  | 5%以上     |
| ROA(総資産経常利益率)   | 3.0%     |  | 5%以上     |
| ROE(自己資本当期純利益率) | 2.6%     |  | 4.5%以上   |
| <b>■業績目標</b>    | 08/7期実績  |  | 11/7期目標  |
| 売上高             | 3,597百万円 |  | 3,900百万円 |
| 営業利益            | 117百万円   |  | 215百万円   |
| 経常利益            | 132百万円   |  | 220百万円   |
| 当期純利益           | 72百万円    |  | 130百万円   |

# 経営目標・業績目標



# 基本戦略

## 「包装システムのトータルプランナーとして 事業領域の拡大を目指す」



# 事業計画モデル

| 売上高(単位:百万円)          | 09/7期実績 | 10/7期実績 |   | 11/7期計画 |
|----------------------|---------|---------|---|---------|
| 国内既存市場<br>(保守消耗部品含む) | 3,000   | 3,015   | → | 3,000   |
| 海外市場<br>(海外部品含む)     | 364     | 161     | ↗ | 300     |
| システム事業               | 310     | 457     | ↘ | 400     |
| 新方式包装機<br>新たなマーケット開拓 | 0       | 49      | ↗ | 200     |
|                      | 3,674   | 3,682   |   | 3,900   |

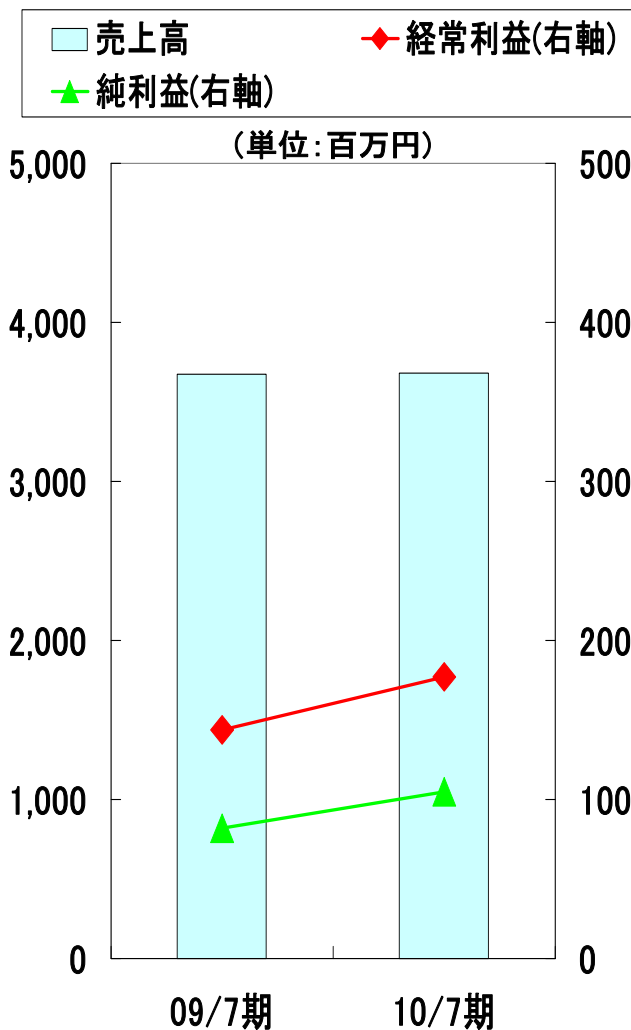


# 第2期;2010年7月期決算の実績

販売台数の増加と収益性の向上により、売上高・利益ともに増収・増益

(単位:百万円、%)

|       | 09/7期            | 10/7期            | 前期比 |       |
|-------|------------------|------------------|-----|-------|
|       | 金額<br>(構成比)      | 金額<br>(構成比)      | 金額  | 率     |
| 売上高   | 3,674<br>(100.0) | 3,682<br>(100.0) | +7  | +0.2  |
| 売上総利益 | 953<br>(25.9)    | 1,016<br>(27.6)  | +63 | +6.7  |
| 営業利益  | 135<br>(3.7)     | 171<br>(4.7)     | +36 | +26.6 |
| 経常利益  | 144<br>(3.9)     | 177<br>(4.8)     | +32 | +22.4 |
| 当期純利益 | 82<br>(2.2)      | 105<br>(2.9)     | +22 | +27.6 |



# 主な経営施策の取組み状況

## ① 独創的な商品開発の推進

### ■ 開発部・技術部の体制強化 単位:人、百万円

|       | 08/7期 | 09/7期 | 10/7期 |
|-------|-------|-------|-------|
| 開発部人員 | 9     | 10    | 11    |
| 技術部人員 | 17    | 17    | 17    |
| 研究開発費 | 83    | 110   | 124   |

11/7期 増員を計画

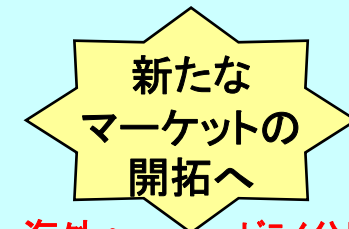
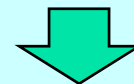
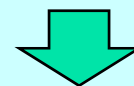
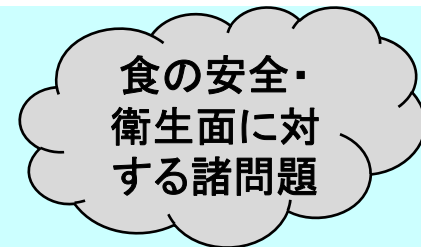
研究開発投資を増加

### ■ 開発実績

- ・医療品包装用新機種(09/7期)、インラインチェッカー対応新機種(09/7期)
- ・茶葉包装用新機種(10/7期)
- ・(新方式) 水洗い対応包装機(09/7期)  
　　ロングリップ包装機(10/7期)

### ■ 今後の主な取組み

- 新方式包装機の拡販
- 新たなマーケット開拓のための新方式包装機、検査装置等の開発



海外へ  
ドライ分野  
以外へ

# 主な経営施策の取組み状況

## ② 食品業界以外の新規顧客開拓の強化

### ■新規顧客・販路開拓の実績

| 受注実績ベース | 08/7期                 | 09/7期                    | 10/7期                      |
|---------|-----------------------|--------------------------|----------------------------|
| 新規顧客開拓数 | 30社                   | 26社                      | 32社                        |
| 業種      | 食品、製茶、健康食品、化学、ペットフード等 | 食品、製茶、製薬、健康食品、化学、ペットフード等 | 食品、健康食品、製薬、ペットフード、事務機器、製本等 |
| 新規販路開拓数 | 3社                    | 3社                       | 2社                         |
| 業種      | 商社、機械メーカー             | エンジニアリング会社、機械メーカー        | 包装会社、機械メーカー                |

海外顧客開拓の実績：5社  
全て食品業界

食品業界以外の実績：12社



受注高337百万円

### ■販売促進活動 ・展示会(09/10月、10/4月、10/6月)による新規顧客の発掘

### ■今後の主な取組み

#### ■展示会出展

(10/10月;シカゴパック、11/6月;国際食品工業展、11/7月;医薬品・化粧品製造技術国際展)

#### ■新分野からの引き合いに対する提案活動の強化

#### ■ネットPRの強化

# 主な経営施策の取組み状況

## ③ 海外マーケット開拓

### ■ 海外市場の実績

\* 海外部品売上高含む

既存ペットフードメーカー向け・  
日系企業向けの需要が  
減少

11/7期は、  
300百万円以上  
に回復の見通し

|        | 08/7期                                  | 09/7期                          | 10/7期                          |
|--------|--|--------------------------------|--------------------------------|
| 海外売上高* | 371百万円                                 | 364百万円                         | 161百万円                         |
| 売上高構成比 | 10.3%                                  | 9.2%                           | 4.4%                           |
| 輸出国    | フランス、アメリカ、<br>カナダ、イギリス、<br>インドネシア、タイ 等 | 中国、タイ、ベトナム、<br>台湾、ロシア、カナダ<br>等 | 台湾、韓国、タイ、<br>インドネシア、<br>マレーシア等 |
| 機械受注高  | 186百万円                                 | 359百万円                         | 189百万円                         |

新規顧客開拓の  
実績：5社

### ■ 販売促進活動

・代理店、窓口の販売支援

中長期的に、アジアを中心に、海外のマーケットでも、  
安全・安心に対する要求が高まり、高品質・高機能的な  
包装の需要拡大が期待される

### ■ 今後の主な取組み

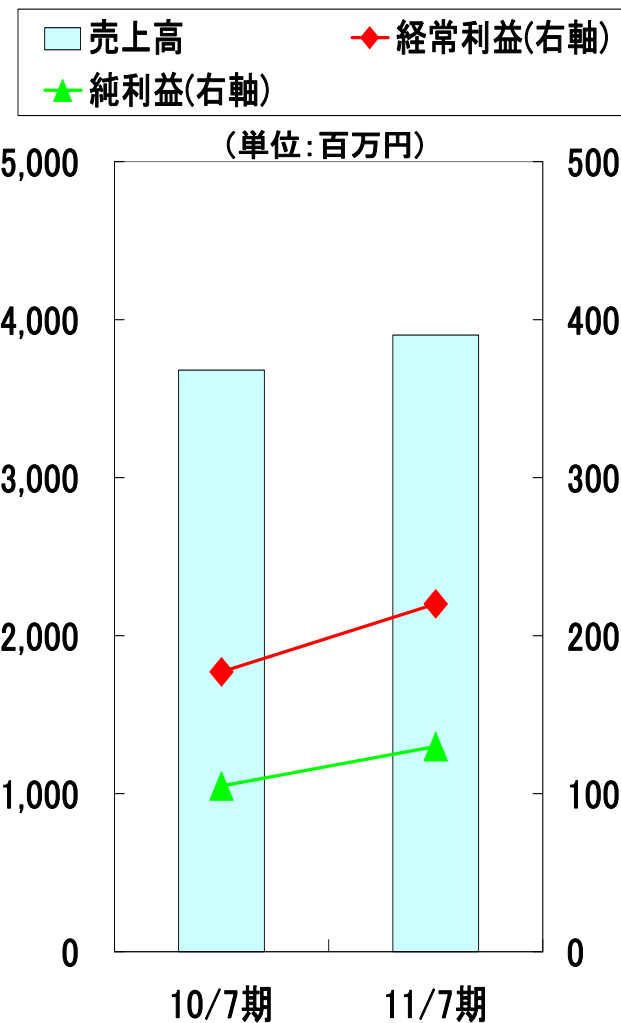
- 海外展示会(シカゴ)への出展とネットPRの強化
- 新機種販売による開拓
- 各地域(米国・ヨーロッパ・東南アジア)の代理店・窓口の販売支援の継続強化

# 最終期;2011年7月期業績予想

高価格機種の販売台数の増加により、3期連続の増収・増益へ

(単位:百万円、%)

|       | 10/7期            | 11/7期            | 前期比  |       |
|-------|------------------|------------------|------|-------|
|       | 金額<br>(構成比)      | 金額<br>(構成比)      | 金額   | 率     |
| 売上高   | 3,682<br>(100.0) | 3,900<br>(100.0) | +217 | +5.9  |
| 売上総利益 | 1,016<br>(27.6)  | 1,088<br>(27.9)  | +71  | +7.0  |
| 営業利益  | 171<br>(4.7)     | 215<br>(5.5)     | +43  | +25.3 |
| 経常利益  | 177<br>(4.8)     | 220<br>(5.6)     | +42  | +24.2 |
| 当期純利益 | 105<br>(2.9)     | 130<br>(3.3)     | +24  | +23.3 |



# 株主還元

株主数; 996名(2010/7月末現在)

## 中期配当政策

- 株主の皆様への積極的な利益還元を図ることを基本方針として、配当性向50%または純資産配当率(DOE)2%を目安に、安定配当を堅持しつつ、業績動向を見ながら配当金の増加を目指す。

|         | 2009/7期 | 2010/7期 | 2011/7期予想 |
|---------|---------|---------|-----------|
| 中間配当    | 3.50円   | 3.50円   | 3.50円     |
| 期末配当    | 3.50円   | 3.50円   | 3.50円     |
| 年間配当    | 7円      | 7円      | 7円        |
| 当期純利益/株 | 9.19円   | 11.84円  | 14.83円    |
| 配当性向    | 76.2%   | 59.0%   | 47.2%     |
| DOE     | 2.2%    | 2.2%    | 2.2%      |

## 自己株式取得

- 2010年3月 取得株数 224,000株 取得金額 41百万円

# 包装システムの市場創造型トータルプランナー ゼネラルパッカー株式会社

## 当資料取り扱い上の注意点

当資料には将来見通しが含まれております。将来見通しは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。この将来見通しは仮定または仮定に基づく根拠が含まれており、環境によっては想定された事実や根拠は実際の結果とは異なる場合があります。当社または当社の経営者は将来の結果についての期待または確信を述べていますが、その期待や確信、あるいはそれに近い結果が実際に達成されるという保証はありません。また法令上、別途の定めがある場合を除き、当社はいかなる将来見通しも最新のものとする義務を負っておりません。

【IR窓口】 経営企画室 長谷川

〒481-8601

愛知県北名古屋市長福寺神明65

電話：0568-23-3111

FAX：0568-22-3222

E-mail：info@general-packer.co.jp

